

上河内地区地域ビジョン

地域の宝を活かしみんなが輝く

上河内



上河内地区まちづくり協議会

上河内地域ビジョン策定委員会

平成30年3月

目 次

1	上河内地区地域ビジョン策定の方針	1
2	上河内地区の概要	
(1)	地域のあゆみ	2
(2)	地域の位置, 面積, 人口	4
3	10年後の上河内地域の目標像	5
4	地域ビジョンの4本の柱	
(1)	にぎわいのあるまちづくり	6
(2)	元気なまちづくり	7
(3)	文化と自然を活かしたまちづくり	8
(4)	みんなで支え合うまちづくり	9
5	地域ビジョンの実現に向けて	10
6	アンケート調査結果の概要	11
7	上河内地域ビジョン策定委員会名簿	14

1 上河内地区地域ビジョン策定の方針

上河内地区は、平成19年3月に宇都宮市と合併して、10年が経過しました。また、上河内地区まちづくり協議会が発足して8年が経過しました。この間、まちづくり協議会は、ふれあいまつり、体育祭、文化交流祭などの交流事業、交通の利便性を考えた地域内交通（かみかわち愛のりユッピー号）の運行や各種防犯活動など地区の生活環境、住民福祉の向上、地区の活性化、安全・安心なまちづくりに向けて活動してまいりました。

まちづくり協議会では、平成28年4月に「上河内地域ビジョン策定委員会」を設置し、地域の現状と課題、地域の特性を把握し、地域自らが、または行政と協働で、進めていく、これから10年後の上河内地区の目標やまちづくりの方向性を定める「地域ビジョン」を検討してまいりました。

「地域ビジョン」の策定にあたっては、住民の皆様や中学3年生、小学6年生に行ったアンケートの結果なども踏まえ、策定いたしました。



天下一関白神獅子舞

2 上河内地区の概要

(1) 地域のあゆみ

上河内地域は昔から米どころで知られており、江戸時代には宇都宮藩に米を献上していました。昭和30年には、昭和の合併により羽黒村と絹島村が合併し上河内村に、平成6年には、町制施行により上河内町が誕生し、平成19年3月に平成の大合併により上河内町と河内町が宇都宮市と合併となりました。

地域には、シンボルとなっている羽黒山に950年余の歴史を持つ羽黒山神社が祭られ、秋の例大祭では五穀豊穡を願う梵天祭が行われ、毎年約7万人の人出で賑わい、当日は地域の名産であるゆずが沿道で売られます。また、地域の東部を流れている鬼怒川が昔から肥沃な大地を育んできたことから、県内屈指の味と品質を誇る米が生産されています。

そのほか地域には、平成14年に「梵天の湯」がオープンし、湯量が豊富なことから温泉のかけ流し方式で、施設は木のぬくもりを感じるやさしい造りとなっており、県内外の癒しの場として定着し、年間約25万人の方が訪れています。

また、平成22年12月には東北自動車道上河内サービスエリアスマートICのフルインター化が完成し、東京と福島方面への出入りが可能となるなど、レジャーやこれを利用した産業の振興が大いに期待されています。



羽黒山神社



ゆず



ほたるの里 梵天の湯



梵天祭り

地域年表

明治22年	羽黒村，絹島村の誕生
昭和30年	羽黒村と絹島村の合併により上河内村が誕生
昭和34年	上河内村新庁舎が竣工
昭和49年	中央公民館（旧生涯学習センター）が竣工
昭和51年	上河内体育館が竣工
昭和57年	郷土文化保存伝習施設が竣工
昭和60年	新庁舎（上河内村役場）が竣工 北運動広場（現宮山田運動場）がオープン
昭和61年	南運動広場（現芦沼運動場）がオープン
昭和62年	老人福祉センターが竣工
平成4年	村営代替バスの運行開始 図書館が竣工
平成5年	緑水公園がオープン
平成6年	町制施行（上河内町へ） 学校給食センターが竣工
平成11年	せせらぎ公園がオープン
平成14年	地域交流館「ほたるの里 梵天の湯」が竣工
平成15年	上河内保健センターが竣工
平成19年	宇都宮市と合併し，上河内地域自治センターとなる
平成22年	上河内中学校に武道場が竣工
平成26年	地域内交通「かみかわち愛のりユッピー号」の本格運行を開始
平成28年	新上河内地域自治センターが竣工
平成29年	上河内地区市民センターへ移行

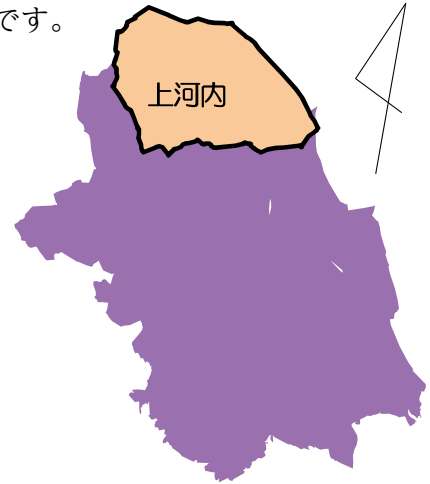
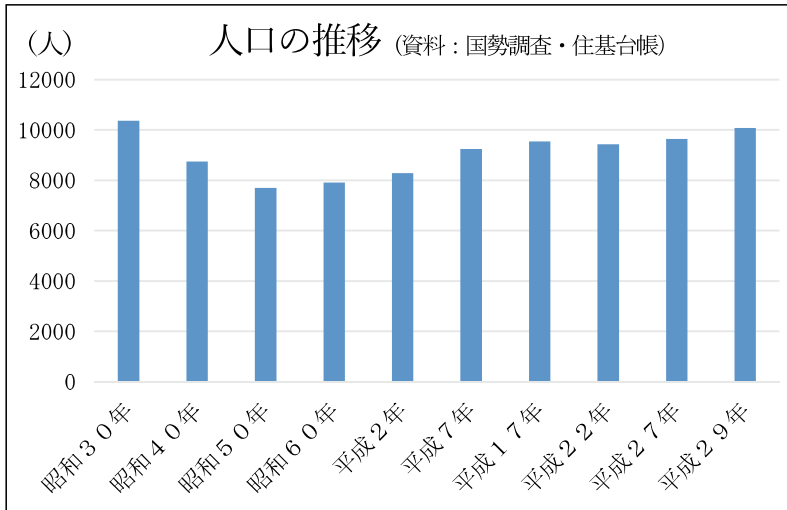
(2) 地域の位置，面積，人口

・位置と面積

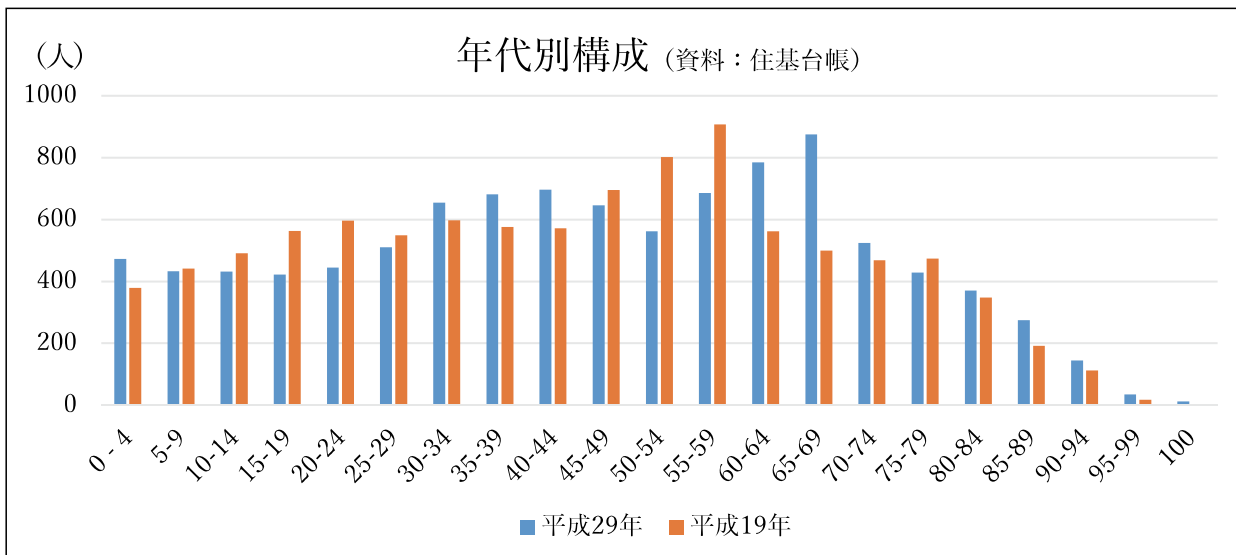
上河内地域は，宇都宮市の中心部から北へ約 14 km に位置し，北西部は標高 458 m の羽黒山を起点として山々が連なり，鬼怒川や当地域に源を発した山田川が流れ，東・南部は関東平野北端部の広がりを見せています。

東西 8.8 km，南北 7.5 km で，面積は 56.96 km² の地域です。

・人口



人口は昭和30年に羽黒村と絹島村が合併し，上河内村が誕生した当時は1万人を超えましたが，高度成長期中，都市への流失が続き，昭和50年代には7,000人台まで減少しました。その後は宇都宮市郊外の住宅地として人口増加に転じました。平成29年12月現在で10,080人となっています。



高齢化率は26.61%で，10年前に比べると約5%増加しており，宇都宮市平均と比べ，約2.5%高くなっています。

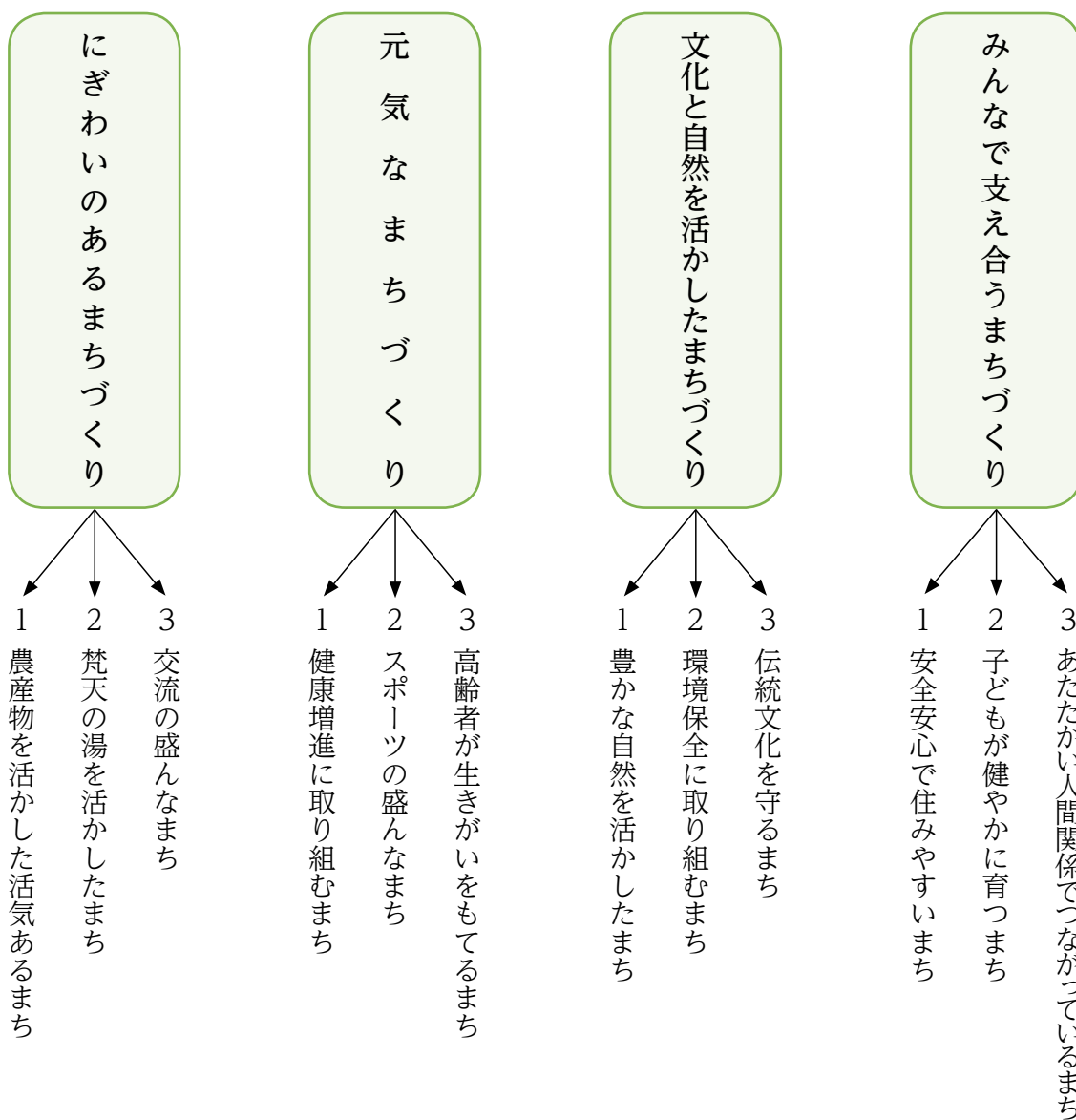
また，年代別構成は，10年前に比べ，60歳以上の年代が増加傾向にあり，4歳以下や30歳から44歳の年代も増加しています。

3 10年後の上河内地域の目標像

地域の宝を活かしみんなが輝く 上河内

この目標像は、上河内地区の現状と課題を踏まえ、上河内地域の宝である、人（健やかに育つ子供たち、元気で健康な若者や高齢者）、豊かな自然、誇れる伝統を活かしてまちづくりを進めて、10年後の上河内地域のあるべき姿を目指すものです。目標像を達成するために、4本の柱を基本として具体的なまちづくりを進めていきます。

《4本の柱》



4 地域ビジョンの4本の柱

(1) にぎわいのあるまちづくり

(地域資源を活かし、地域内外の交流がさかんで、にぎわいのあるまち)

地域の現状

強み

- * 農産物が豊富にある
- * ふれあいまつりが盛んである
- * 梵天の湯がある

課題

- * 6次化が少ない
- * 地域ブランド不足
- * 特産物が少ない
- * 地域内の交流が少ない
- * イベントの参加が少ない

重点化項目

1 農産物を活かした活気あるまち

取組1 地域のブランド農産物のPR

- ① ホームページによる情報発信
- ② 6次産業（生産、加工、販売）の推進

取組2 農産物等の販売イベントの開催

- ① ファーマーズマーケットの開催（軽トラ市など）

取組3 地産地消の推進

- ① 地元の野菜を使った料理教室の開催
- ② レシピコンテストの開催

取組4 ふれあい農園の創設

- ① 農園用地の確保，運営組織の立ち上げ



文化交流祭

2 梵天の湯を活かしたまち

取組1 季節ごとのまつりの開催

- ① 桜，紫陽花，ホタル，ふれあいまつりなど
季節ごとのまつりを開催

取組2 温泉の活用

- ① 足湯の設置など
- ② 温泉熱の有効活用



ふれあいまつり

3 交流の盛んなまち

取組1 イベントの開催

- ① ふれあいまつりへ近隣地区への参加の呼びかけ

取組2 交流事業の拡充

- ① 文化交流祭・体育祭の参加呼びかけの強化
- ② ウォーキング大会，サイクリング大会の参加呼びかけの強化



サイクルピクニック

(2) 元気なまちづくり

(すべての人が健康で生きがいを持続けるまち)

地域の現状

強み

- * 高齢者が元気である
- * 人口が増えてきている

課題

- * 高齢化している
- * 人材バンクがない
- * 高齢者が集まる場所がない
- * 運動施設が近くにない

重点化項目

1 健康増進に取り組むまち

取組1 健康教室の開催

- ①小学生や高齢者が一緒に参加できる教室の開催
- ②梵天の湯や健康館の活用

取組2 減塩運動の推進

- ①学校や高齢者が集まる機会を利用し出前講座の開催

取組3 環境の整備

- ①サイクリングコースやウォーキングコースのリーフレット作成・コースの紹介



体育祭

2 スポーツの盛んなまち

取組1 ひとり1スポーツの推進

- ①クラブチームの把握・紹介
- ②ニュースポーツ教室の開催

取組2 特筆するスポーツの育成

- ①スポーツの普及・啓発



ワンタッチバレー

3 高齢者が生きがいをもてるまち

取組1 サークル活動等の推進

- ①地区内のサークルの把握・紹介
- ②ふれあい農園への参加

取組2 地域貢献活動の推進

- ①高齢者ボランティアの必要性の把握・募集
- ②環境保全活動や福祉活動への参加

取組3 特技を活かした人材登録の推進

- ①野菜作りや伝統工芸などの指導



絶景!! 羽黒山ウォーキング

(3) 文化と自然を活かしたまちづくり

(伝統文化と豊かな自然や景観を活かしたまち)

地域の現状

強み

- * 羽黒山がある
- * 伝統行事がある
- * 自然豊かで緑が多い

課題

- * 伝統行事の継承が難しい
- * ゴミの投げ捨てが多い
- * 観光資源が少ない

重点化項目

1 豊かな自然を活かしたまち

取組1 ほたるの里づくり

- ① ほたるの里づくりチームの立ち上げ

取組2 羽黒山を活かしたイベントの開催

- ① トレッキングコースの整備, 環境美化を目的としたイベントの開催



不法投棄回収活動

2 環境保全に取り組むまち

取組1 清掃活動, ごみ削減の推進

- ① 一斉清掃, 環境活動の周知・強化
- ② 3R運動の推進

※ 3R…リデュース (減らす)、リユース (再利用)、リサイクル (再生利用)

取組2 河川環境の保全

- ① ゴミ拾いなどの清掃活動の実施

取組3 生きものの調査・保全

- ① 河川調査の実施



生きもの調査

3 伝統文化を守るまち

取組1 梵天祭りの盛り上げ

- ① おもてなし広場, おもてなし茶屋の活用
- ② 担ぎ手の確保

取組2 旧所名跡の整備

- ① アピール看板の設置, 駐車場の整備

取組3 風習, 伝統行事の伝承・継承

- ① 風習や伝統行事を守り, 伝えるグループの育成



おもてなし ぼんてん汁

(4) みんなで支え合うまちづくり

(地域の絆を持ち続けるまち)

地域の現状

強み

- * 事故・犯罪が少ない
- * 子どもたちはあいさつがよくできている
- * 災害が少ない

課題

- * 防犯灯が少ない
- * 子どもの遊び場が少ない
- * 地域を担う人が少ない

重点化項目

1 安全安心で住みやすいまち

取組1 防犯の推進

- ① 地元老人クラブ等にパトロールを要請し、実施
- ② 自治会に働きかけ、防犯灯の調査・設置を実施

取組2 危険な箇所の把握・周知・改善

- ① 防災、危険箇所マップの作成

取組3 防災訓練の実施

- ① 防災訓練要領に基づく実施方法の周知徹底



防災訓練

2 子どもが健やかに育つまち

取組1 あいさつ運動の推進

- ① 学校やすべての住民に係るシステムの構築

取組2 子どもの見守り活動

- ① 通学路等危険な箇所の把握・周知・改善
- ② 見守りボランティアシステムの充実



子どもの見守り活動

3 あたたかい人間関係でつながっているまち

取組1 あいさつ運動の推進

- ① 地域全体に係るシステムの構築

取組2 高齢者見守り活動の推進

- ① 見守り活動の計画、実施

取組3 ボランティア活動の推進

- ① 組織の立ち上げ、実施

取組4 花いっぱい運動の推進

- ① 運動組織の立ち上げ、実施



花いっぱい運動

5 地域ビジョンの実現に向けて

まちづくり協議会では、平成28年度に20名の委員で構成した「上河内地域ビジョン策定委員会」を設置し、上河内地域の進むべき方向、10年後の在るべき姿等について諮問いたしました。このほど策定委員会より答申をいただき、今後はこの「地域ビジョン」をまちづくり協議会が進めるまちづくりの基本方針として位置付け、実践することとなります。

子や孫、更にもその先の世代まで、永続的な活性化を目指し、この地域を“もっと、前へ”進める具体的な取り組みを実践したいと考えております。その実践体制は、まちづくり協議会を中心として、より多くの地域の皆様に関わりをいただき、オール上河内体制で望みたいと思っております。

地域の皆様には、この「地域ビジョン」を共有していただき、多くの皆様との協働で進みたいと考えているところであり、皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年3月

上河内地区まちづくり協議会
会 長 小嶋 理男

6 アンケート調査結果の概要

調査対象：1世帯1人回答で2,008人から回答をいただきました。

〔自治会回収 2,002人〕
〔窓口回収 6人〕

：中学3年生 84人

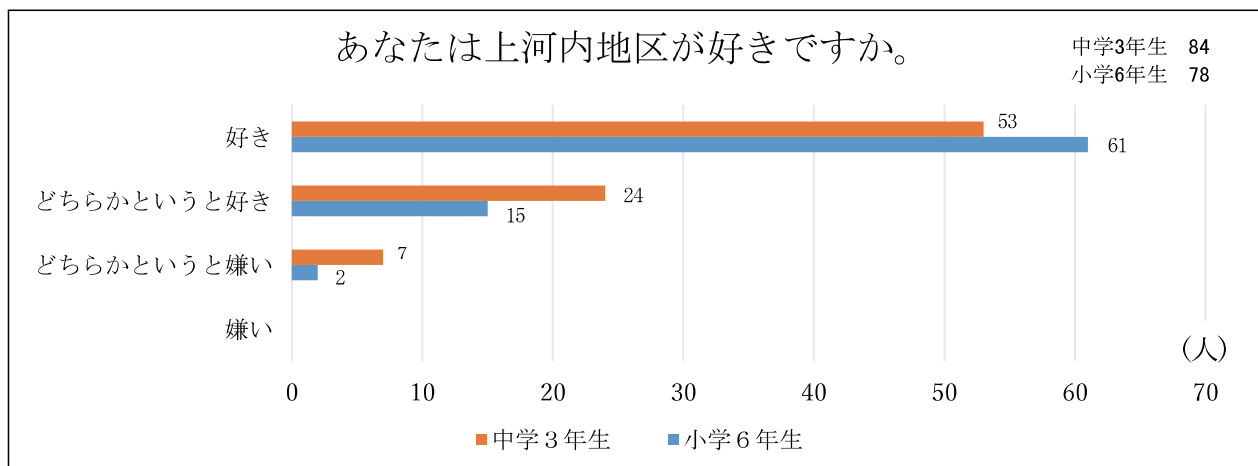
：小学6年生 78人

調査方法：自治会長及び小中学校校長に配布・回収依頼

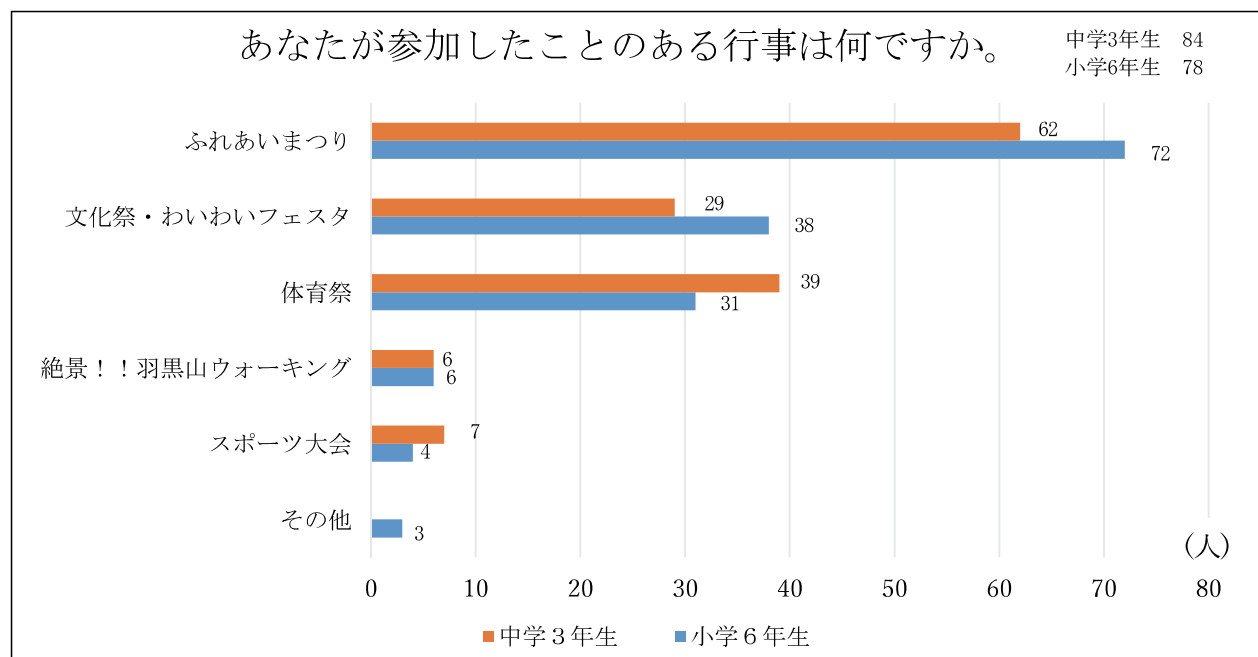
上河内地区市民センター・上河内図書館・上河内健康館窓口にアンケート設置，回収

調査期間：平成29年4月から5月

中学3年生・小学6年生の調査結果

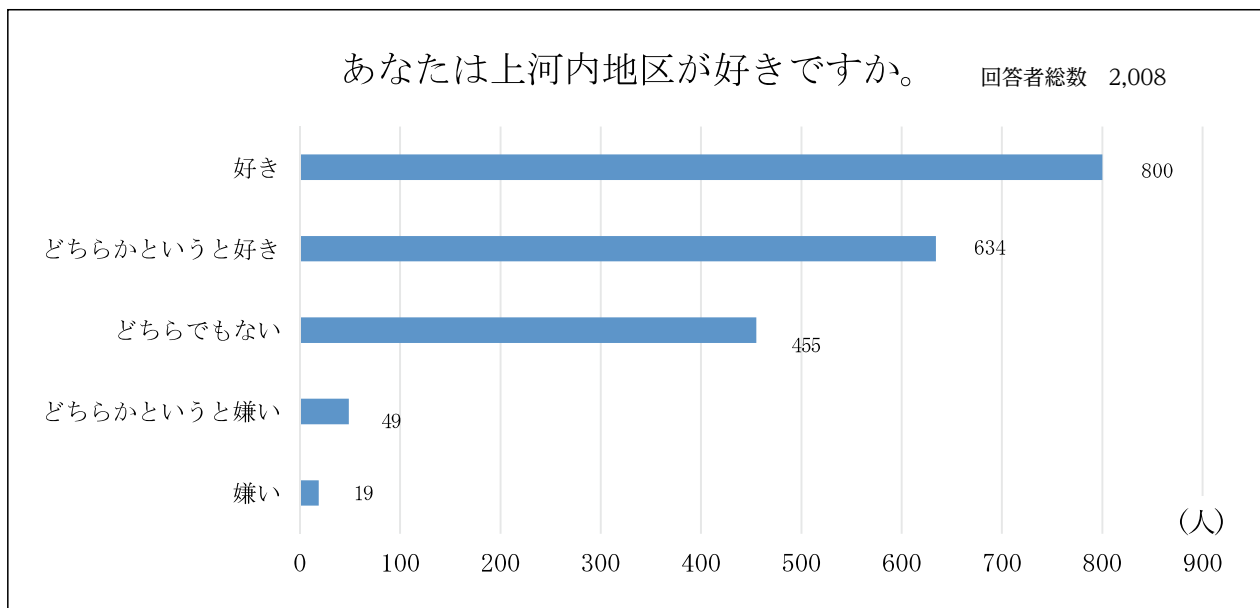


「好き」と「どちらかという人喜欢」が中学3年生，小学6年生ともに9割以上でした。

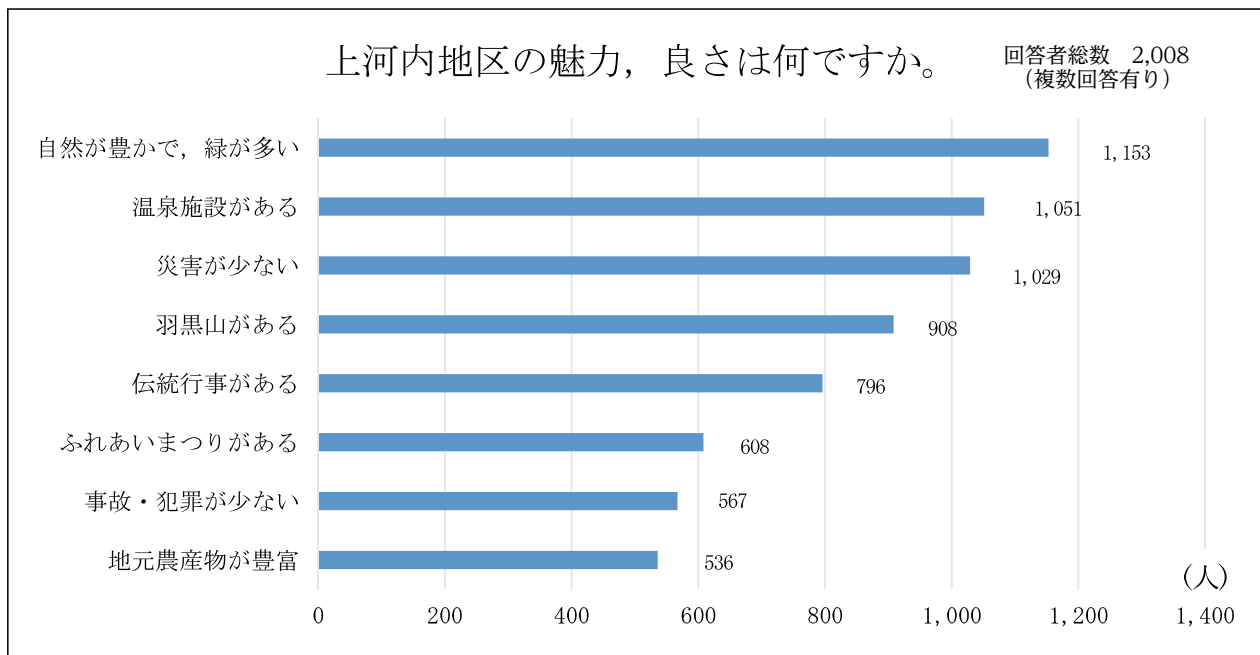


ふれあいまつりへの参加は，中学3年生が7割以上，小学6年生が9割以上でした。

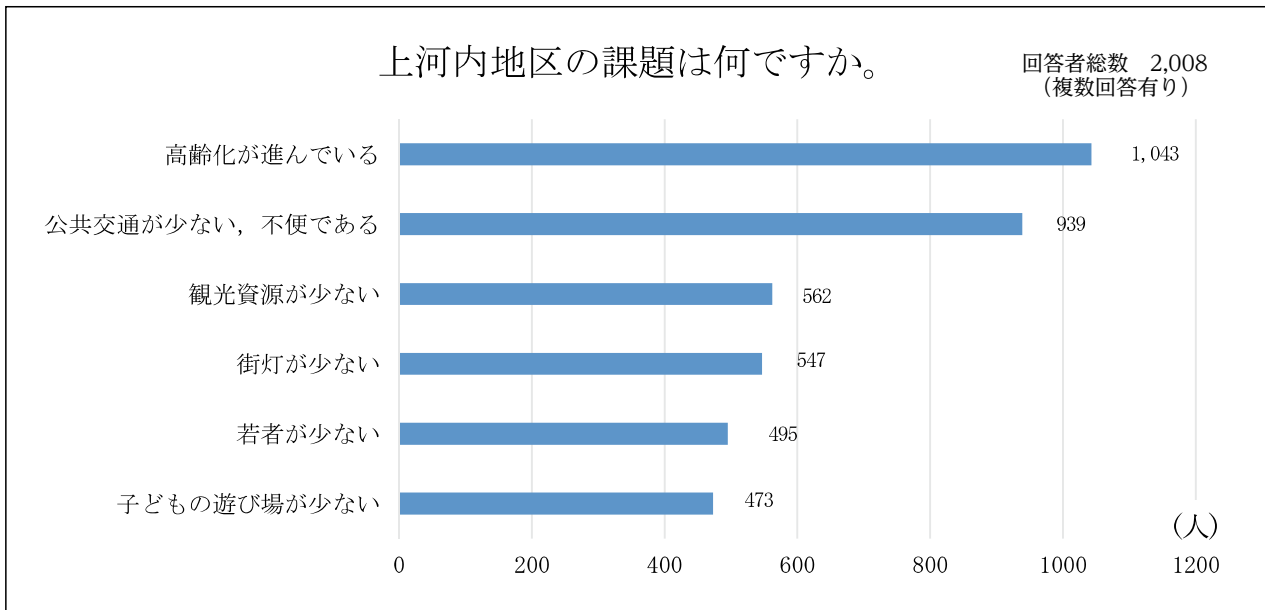
世帯用の調査結果



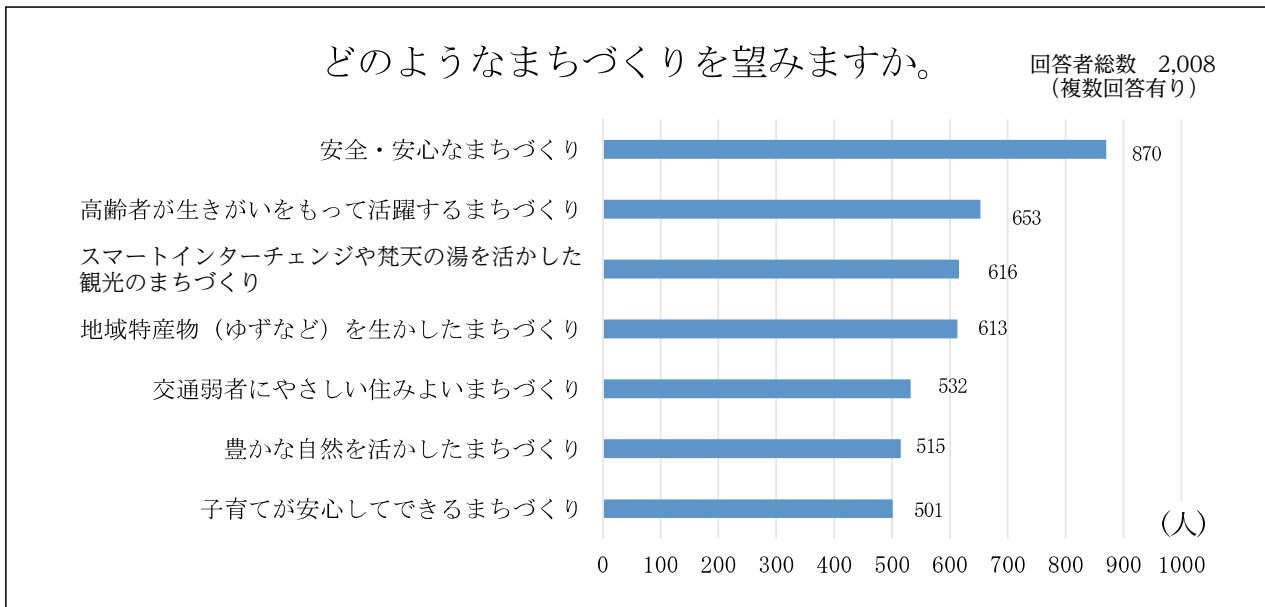
「好き」と「どちらかという好き」を合わせて7割以上の方が回答しています。



魅力として「自然が豊かで、緑が多い」「温泉施設がある」「災害が少ない」の3項目を5割以上の方が回答しています。



課題として「高齢化が進んでいる」を5割以上の方が回答しています。次いで「公共交通が少ない, 不便である」を4割以上の方が回答しています。

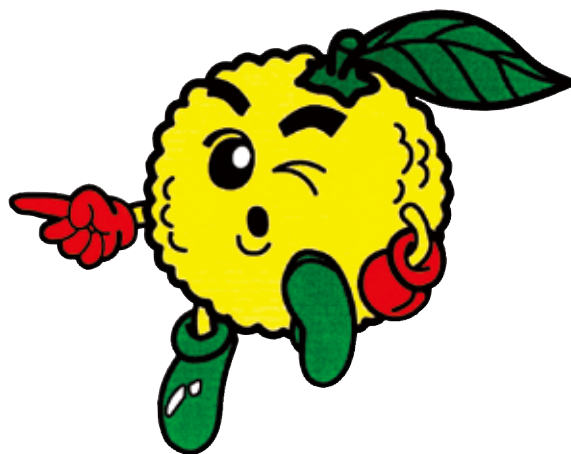


「安全・安心なまちづくり」は4割以上の方が望んでおり、最も高く、次いで「高齢者が生きがいをもって活躍するまちづくり」「スマートインターチェンジや梵天の湯を活かした観光のまちづくり」「地域特産物を活かしたまちづくり」は3割の方が望んでいました。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

7 上河内地域ビジョン策定委員会名簿

役 職	氏 名
委 員 長	草 深 健 作
副委員長	手 塚 恭 一
副委員長	赤 羽 耕 一
事務局長	神 山 和 夫
委 員	江 連 良 治
委 員	岡 田 尚 士
委 員	小 野 修 央
委 員	角 田 カズイ
委 員	笹 沼 寿 江
委 員	太 幡 健 一
委 員	手 塚 信 也
委 員	手 塚 容 子
委 員	花 塚 三千代
委 員	藤 江 政 夫
委 員	藤 澤 勝
委 員	星 健太郎
委 員	峯 田 力
委 員	嶺 康 夫
委 員	村 上 千 陽
委 員	山 田 公 平



上河内地域イメージキャラクター
「ユッピーちゃん」

上河内地区地域ビジョン

発行年月 平成30年3月

作 成 上河内地区まちづくり協議会
上河内地域ビジョン策定委員会

〒321-0414 宇都宮市中里町181-3
上河内地区市民センター内

電 話 028-674-3131 / F A X 028-674-3139
上河内地域のホームページ

<http://kamikawachi.webcrow.jp/>

印 刷 所 株式会社井上総合印刷